

意見の概要

ウナギの漁獲量は1961年には3327トンに達していたが、2010年には286トンにまで減少している。特に利根川水系では、常陸川木内や利根河口堰建設の影響もあって、最盛期には約1000トンに達し、全国の30%を占めたが、2010年にはわずか16トンに激減してしまっている。ウナギが減少した原因を明らかにする必要がある。日本人の食卓からウナギが減少し、水質汚濁が原因とされているが、夕や河口堰建設、河川湖沼の生物多様性を破壊しているのは明らかである。「種の絶滅」が「治水」の妨げになっていることは、利根川水系河川整備計画は自然に」としては、とうてい容認できません。

※楷書横書きで、できるだけ400文字以内で記載して下さい。